

I. 第2期事業計画期間の教育目標

- 文武両道の地域密着型高校の実現
 - *塩尻市（中信地区）唯一の普通科進学校&普通科スポーツ強豪校としてのステイタスを築き、「塩尻（中信地区）の英才は都市大塩尻高が育てる」学校づくり
 - *信州大学との日常的な高大連携をとり信大進学を実現（徹底的な信州大学入試対策）
 - *強化部を中心に、個人競技へのサポートも厚くして、部活・個人の全国大会出場
- 先進的な首都圏教育（ICT教育等）の推進
 - *学習システムや学校行事（企画・運営）等を導入して他校と差別化を図る。首都圏の文化を発信する学校づくり
 - *東京都市大学との高大連携、グループ各校（小・中高）との連携
 - *旧帝大等への進学
- グローバル教育・探究活動の充実
 - *「国際交流センター」を設置し、留学生対応（海外語学研修、短期・長期留学）及び各プログラム（帰国子女の受入、海外大学への進学、発信型「交渉できる」英語教育）の充実
 - *探究教育の発展（国内での調査・研究を発展させ海外の学生との活動）

II. 本年度の施策内容（達成目標）及び具体的な取り組み内容

■重点目標Ⅰ 良質な教育の実践

■重点課題① 魅力ある教育プログラムの開発・実践

- (1) “Toisa+21”と学習相談の充実のため、全校生徒が活用できる学習支援センターを目指す。
 - ・学力向上のための放課後講座の開講
 - ・朝テストを活用した学習習慣の確立
 - ・学習支援センター運営の改善
 - ・最新の大学研究と高い進学意識の向上
- (2) 探究コースの充実
 - ・最新の探究教育の研究と新1年生への総合的な探究の時間の対応
 - ・外部機関との連携—都市大・塩尻市
 - ・校外発表への参加の促進
 - ・海外での実施可能なフィールドワークの事前調査
 - ・探究コースの新たなありかた検討
- (3) その他
 - ・類型ごとの教育目標の確認と方針立案
 - ・新サポート体制の確立—多様な学習ニーズへの対応
 - ・校則の見直し
 - ・生徒の自主的活動・自治活動の醸成に向けての取り組み

■重点課題② サポート体制の充実

- (1) 部活動の活性化—強化部・準強化部は全国大会に出場し、勝利できるチームの育成
 - ・部員数の多い部活動への支援強化
 - ・専門技術を指導できる経験・知識のある部活動指導者の充実
 - ・部活動のプラットホーム化についての調査
- (2) 高大連携事業の充実
 - ・学習支援センターの運営体制整備—大学との連携
 - ・信州大学職員・学生との探究活動
 - ・東京都市大学進学者への遠隔授業

- (3) 進学各種講座の積極的展開（予備校講座・思考力養成講座）
- (4) 学習支援センター運營業務の効率化
- (5) 生徒会活動の活性化
 - ・地域ボランティア等への企画運営

■重点課題③ 教職員の人材育成・資質向上

- (1) 特別選抜類型の国公立大・難関私大対応授業・補習・進路指導が可能な教員を募集。
- (2) 各類型を担当する教員の専門化
- (3) 教員研修制度の改善と充実

■重点課題④-1 ICT を利用した教育計画

- (1) 「情報Ⅰ」の受験対応
- (2) 個別最適化学習と AI 教育の研究
- (3) ICT 教育の充実-新入生クロームブック導入
- (4) 新統合型校務支援システム導入に向けての対応

■重点課題④-2 国際化計画

様々な海外研修プログラムの導入-海外の大学との連携

■重点目標Ⅱ グループ間連携の進化・拡大

■重点課題① 各学校の連携強化

- (1) 探究コースの都市大教授陣による指導の継続と高大連携の充実
 - ・都市大教授陣や大学生・院生との高大連携活動の検討
 - ・都市大進学制度を利用した都市大への進学拡大
- (2) グループ内高校間連携
 - ・探究合同発表会や報告会、探究的活動交流を検討。
 - ・3校サミット-生徒会の活性化のための交流を継続し、文化祭等の活動にいかしていく。

■重点目標Ⅲ 教育環境の整備・充実

■重点課題① 学習環境の整備・充実

- (1) 学校保健・衛生院会を中心に学習環境のチェックと整備提言
- (2) 2025 年職員室配置を検討

■重点課題② 効率的業務の推進

* 専門的分野での外部業者委託の検討

■学校独自の重点項目 コース再編計画

* コース再編を含めた今後の塩尻高校に向けた改革